

学位記授与式・修了式

3月21日(日)、新潟キャンパス10階大講義室にて学位記授与式・修了式が行われました。経営管理修士(専門職)MBAを授与された22名の修了生は、教職員、派遣元企業関係者、家族が見守る中、湯川真人学長から学位記を受け取りました。この日は、サテライトキャンパスで学んだ修了生も学位記授与式に出席のため新潟へ。これまでTV会議システムを通じて会話することが多かった新潟本校の院生と、二年間の努力を称え合いました。



桑田耕栄さん



式典終了後、いつの間にか始まった写真撮影はいつまでも続きました。

<修了生代表・桑田耕栄さんの答辞(抜粋)>

「問題は解決されるためにある。強い信念を持って取り組むこと、決して諦めないことを学びました。母国に帰って起業を目指すもの、所属する企業で新規事業の立上げに関わる者など、進む道はそれぞれに異なりますが、第三期生として後輩たちの模範になるよう、横のつながりを持ちながら、これからも精進を重ねてまいります。」

i n f o r m a t i o n

▶ 出張講義・出張講演のお知らせ

本学では、地域、社会、産業界との連携の一環として、教員が企業や団体等へ出向き、講義や講演を行う「出張講義」(6~12回)、および出張講演(1回完結)をご用意しております。

企業、団体等での人材育成や研修、イベント時の基調講演等でご活用ください。

【出張講義テーマ例】 「コーポレートファイナンス」「マーケティング戦略」「人材とビジネスをめぐるケースディスカッション」「技術経営の基礎」他

【出張講演テーマ例】 「最近の地域経済動向と企業の対応策」「ITと経営」「地域活性化とスポーツ」「地域ブランドと観光ブランドの形成とは?」「キャッシュフローで会社を強くする」他

※講義・講演のテーマおよび内容については、ご要望に応じて検討いたしますのでお気軽にご相談ください。

▶ 大学院説明会情報

111 大学院説明会日程(新潟キャンパス) 5/8(土)・6/5(土)・7/10(土)・8/3(火)	111 大学院説明会日程(東京キャンパス) 5/8(土)・6/5(土)・7/10(土)
---	--

プログラム 大学院設立の趣旨説明、教育課程の特徴説明、入試概要の説明、個別相談など

《ご都合により大学院説明会へ参加できない方へ》個別に日程を調整いたします。お気軽に本学までお問い合わせください。

▶ 入学試験情報

2010年度 秋学期(10月入学)入学試験日程

日本人(日本国籍外国人含む)

	入学試験日	出願期間
第1次募集	2010年7月3日(土)	2010年6月14日(月)~6月25日(金)
第2次募集	2010年8月7日(土)	2010年6月14日(月)~7月30日(金)
第3次募集	2010年9月4日(土)	2010年6月14日(月)~8月27日(金)

外国人(日本国内在住)

	入学試験日	出願期間
第1次募集	2010年7月3日(土)	2010年6月14日(月)~6月25日(金)
第2次募集	2010年8月7日(土)	2010年6月14日(月)~7月30日(金)

外国人(日本国外在住)

	入学試験日	出願期間
第1次募集	2010年6月5日(土)	2010年5月17日(月)~5月28日(金)
第2次募集	2010年7月3日(土)	2010年5月17日(月)~6月25日(金)

募集概要 詳しくは、募集要項にてご確認ください。募集要項をご希望の方は、本学までお申込みください。(無料)



2010年4月1日発行
編集・発行
事業創造大学院大学
広報委員会・事務局



【バックナンバー】
広報誌「J Press」のバックナンバーは、
本学ホームページからダウンロードできます。

CONTENTS

表紙 誌上講義
p.2 修了生紹介
p.3 特別講義報告
p.4 大学院トピックス、インフォメーション

誌上講義

「失敗に学ぶ」

私たちは、自らが犯した失敗は恥ずかしいものと考え隠したくなるものだが、失敗とどう向き合ったらよいか、失敗を何とか役立てる方法はないのかについて考えてみた。

失敗の原因には、無知、不注意、誤判断などに起因するものと、仕組み不良、システム不良など構造に起因するもののほか、世の中の誰もが経験したことのない未知の領域に踏み込んだことによる失敗もある。

私が専攻した機械工学の分野で、世界の三大失敗といわれる有名な事例がある。1940年に起きた米東岸のタコマにおける竣工間もない吊橋崩落事故は、自励振動という未知の現象が原因していた。1946年の英デハビラント社製ジェット機の2度の墜落事故は当時未解明の金属の疲労破壊から生じたものであった。そして、第二次大戦中に大量に建造された米貨物船の破損、沈没多発事故は低温脆性という未知の現象が原因していた。これらの失敗は原因の徹底的究明とともに知識化され、それが新しい構造や製法の確立につながり今日の技術発展に大いに寄与している。失敗のなかでも未知への遭遇という良い失敗の事例と言われている。

失敗から思わぬ発明が生まれた例がいくつかある。米スリーエム社が強力な接着剤の開発を行った際、意に反し弱い接着剤ができてしまった。これはお蔵入りにしたが、失敗事例として社内に公開された。これを見た別の技術者が、紙のしおりに不便を感じていたことから弱い接着剤のついたしおりができないかと自ら研究を始め5年かけてポストイットの開発に成功したという。

ノーベル化学賞を受賞した白川英樹博士は、大学助手時代アセチレンガスから高分子のポリアセチレンを合成する実験を行った際、学生が触媒の濃度のミリモル (mmol) のmを見落とし、モル単位すなわち千倍の濃度の溶液を作ってしまった。ポリアセチレン粉末のかわりに膜状のものができてしまい、実験は失敗したがこの物質を分析した結果、ポリアセチレンフィルムと判明、そして世界初の電気を通す高分子の発見となった。これらの事例は失敗を隠したり、放置したりしていたら絶対成功しなかったという点で共通している。

失敗の原因を系統化しそれをデータベースとして知識化する学問「失敗学」が数年前にわが国で生まれた。この失敗学を構成するメンバーは大学、研究機関、民間企業など多様であるが、共通点は創造的マインドを持った人たちの集まりであり、価値創造の手段として失敗を活用するという理念がある。事例が独立行政法人科学技術振興機構 (JST) の「失敗百選」で公開されている。そのうちの一例を紹介しよう。

1995年に発生した阪神淡路大震災における高速道路の橋脚の倒壊事故をもとに、JR東日本では、管内の新幹線高架橋の耐震性評価を行った。その結果、約4000本の橋脚補強が必要と判断し計画的に補強工事を実施に移した。2004年に発生した中越地震で走行中の上越新幹線が脱線事故を起こしたが、転覆等の大事に至らず人身事故は免れた。これは高架上であったにもかかわらず橋脚の補強が完了していたために倒壊を免れたものだという。失敗を教訓に予防処置を行った良い事例といえる。

最近話題になっているトヨタのリコール問題を失敗という視点から考察してみた。一連のトラブルが明らかになった時点で、豊田章男社長は「トヨタは絶対に失敗しない全能の存在ではない。」と発言した。製造業が模範にしてきた「トヨタ生産方式」のひとつである、アンドン方式は生産ラインで異常が発生したとき、発見者がアンドンを点灯すると支援部隊が駆けつけて応急対策をする一種の「失敗の拡大」を防ぐ仕組みだが、市場においてもこの仕組みが働けば、問題が小さいうちに解決できたという指摘もある。

いま失敗を認める企業文化が求められている。また同じ失敗を繰り返さないという決意も大切だ。近年特に目立つのが組織の不祥事で、食品偽装や公共工事の談合事件などは、繰り返し起こる失敗の最たるものである。

【参考文献】 1.「失敗学のすすめ」畑村洋太郎 講談社 2.「失敗の予防学」中尾政之 三笠書房



教授 佐藤 一也
— Sato Kazuya —

【担当科目】
中小企業のイノベーション、演習
東北大学工学部卒
(株)新潟鐵工所 取締役、執行役員、新潟内燃機工場長などを歴任
~財団法人日本海事協会
ディーゼル機関の開発、製造、工場経営などに長年携わる。
新潟大学人間教育科学部非常勤講師の経験。
ISO9001、ISO14001審査員。

今年3月にMBAを取得した修了生に、入学から現在に至るまでの道のりや今後のビジョンなどについて聞いてみました。

入学したきっかけは何ですか？ また、その目的は達成されましたか？

たくさんの魅力がありながらどんどん都会との格差が広がっていく地方の状況を打開するために、何か自分にもできることはないのかと考えた時、まず、新しいビジネスの視点が必要だと感じました。そこで、事業を創造するという目的に特化し、故郷新潟に存在するこの大学院に入学し、勉強してみようと思ったのです。授業を通して、今までにない様々な角度からビジネスモデル、チャンスを考えられるようになったと同時に、食、環境などの日本が直面する将来の課題を解決するために、ますます地方の存在が大きくなると確信しました。とても有意義な2年間でした。



伊藤 聡子
Ito Satoko

2010年3月修了

フリーキャスター

特に役に立ったカリキュラムは何ですか？

「ツーリズムマネジメント」「健康ビジネス創造論」「アグリビジネス」…地方の何に価値を見出していくのか、光の当て方によって様々な可能性があることを実感し、私の場合、事業計画にも関わる企画の立て方に大きく役立ちました。

「サービスマネジメント」「中小企業成長戦略」…経営していく上での理念の大切さやチームパワーの引き出し方など、どの仕事においても、また人生にとっても大切なことを学んだような気がします。

「中小企業金融」…経営の要である経理、特にキャッシュフローについて、私のように全く知識のない状況でも短期間でわかりやすく教えてもらったので助かりました。

これからの予定を具体的に教えてください。



漠然と考えていた地方活性化への取り組みに対しても思ったより早く自ら具体的に動きだしていることは、自分でも驚いています。現在、キャスターとしての仕事と同時に地方活性化のサポートをするいくつかの企画に関わっているため、今はこれを実現するべく動いています。将来的には女性目線をいかしたサポートチーム体制で事業化し、地域の特性を生かしたプロジェクトや商品プロデュースをしていきたいと考えています。

学位記を受け取る伊藤さん。今後は、事業創造大学院大学の客員教授としても活躍する。

入学したきっかけは何ですか？ また、その目的は達成されましたか？

入学のきっかけは、企業派遣として大学院で勉強してみたいかと会社から声をかけてもらったことでした。日常の業務の幅を広げるきっかけになればと思い、入学を決意しました。大学院ではさまざまな業種で活躍されている多くの同志との出会いがありました。授業以外にも様々な情報交換をする機会を持つことができましたので、業務の幅が広がったことはもちろん、互いに刺激しあい、切磋琢磨できる仲間とのディスカッションを繰り返すことで、日々成長しているのを実感することができました。



山本 太郎
Yamamoto Taro

2010年3月修了

(株)ハードオフコーポレーション
社長室次長

特に役に立ったカリキュラムは何ですか？

大学院生活を振り返り、特に成長できた時間は「ゼミ(演習)」の時間でした。ゼミは、担当の先生の下、数人の学生が週1~2回集まって、各自が作成している事業計画について毎回激しい議論を行いました。担当教員からの事業計画作成についての基礎的な指導をしていただいただけではなく、各自の事業計画の内容について様々な意見が飛び交いました。ビジネスアイデアの創出の場として、本当に貴重な時間だったと思います。

入学前の自分と現在の自分で、何か変化はありましたか？



地域活性化をテーマにした講義も多くあり、現在は大学院で学んだことを生かして地元「新潟」をどのようにして活性化していくことができるかを真剣に考えるようになりました。また、アントレプレナーシップ豊富な仲間と今後のビジョンをコミットすることで、互いを刺激し合い、何としても自分のビジョンや夢を実現させたいという思いが一段と強くなりました。卒業後も、一生互いに刺激し合える、最良の仲間を得ることができました。

事業計画書最終審査会の様子。山本さんの事業計画は、企業内での新規事業としてすでに立ち上がっている

2010年1月23日(土)、松井 道夫 客員教授による特別講義が開催されました。証券界の成功者として知られる松井客員教授の特別講義に、院生、一般を合わせて約50名の受講者が参加しました。講義の一部をご紹介します。

【講義要約】

「変革期における経営論 ～組織の時代から個の時代へ～」

経営者をやっていると、「匂い」が嗅げるようになるんです。

経営者になって二十数年になります。娘婿として、今年創業91年目を迎える松井証券の四代目の社長となりました。社長に就任してから、赤字は一度も出していません。年間の株取扱高は1,500億円から35兆円まで二百倍以上伸ばしました。2001年に東証一部直接上場も果たし、直近10年間の経常利益は合計1,500億円ほどで、数字だけを見れば自分でもそこそこやったほうだと思いますが、自分では成功者だとは思っていません。これから挑もうとしている勝負に比べたら、今までやってきたことなんて助走みたいなものです。このあと、世の中に間違いなくとんでもない変化が起こります。二十年以上も経営者をやっていると、そういう「匂い」が嗅げるようになるんです。具体的にこれからどんな変化があって、何をやるか、今は教えられません。今57歳ですが、六十何歳かまでには結果が出るでしょう。勝つかどうかは分かりませんが、負けたら潔く退こうと考えています。



松井証券株式会社
代表取締役
松井 道夫 氏

何もしないボンクラのほうが、いろいろしたがるボンクラよりはるかにマシだ。

社長になってからずっと意識してきた言葉が「ボンクラ」です。岳父である二代目社長の口癖は、「僕みたいなボンクラはねえ…」でした。初代から有無を言わず会社を継がされ、戦争で会社のはほぼ全てを失いながらも独立を保った人で、実質的な創業者です。東京帝大を出た秀才でしたし、決してボンクラとは思いません。彼が私に呟いたのは、「何もしないボンクラのほうが、いろいろしたがるボンクラよりはるかにマシだ。何もしないボンクラは会社をつぶさないが、いろいろしたがるボンクラはすぐに会社をつぶす」でした。何を言いたかったのかは定かではありません。40年にわたって社長を務め、知識も経験も証券界随一でしたが、私の相談には一度ものつてくれたことはありません。「それは道夫さんが決めることでしょう。そう思うならおやりなさい。自分の責任でね」いつもそれしか言ってくれませんでした。どうすればよいか分からず、パニックになりながらいろいろやってきましたが、今になって思うことは、自分とはことんボンクラに徹してきたのかなど。何もしないどころか、引き算しかやっていません。どうすればこの会社を小さくできるか、余計なものは消していこう、これに全力を尽くしました。それまで築いてきた外交セールスの基盤を全て否定し、止めました。代わりにコールセンターをつかって電話による株取引を始めて成功しましたが、インターネット株取引を日本で初めて開始した際にこれも捨てました。いつも捨ててばかりでした。社員のクビは一人も切っていませんが、過去を否定するような決断をしたわけですから、とても付いていけないといって去っていった社員は大勢います。彼らに申し訳ないという気持ちはありますが、決断するのは経営者である自分しかありませんし、それに従ってもらわなくてはなりません。

「2+1=1」、「2-1=3」

これは私が考えた式です。世の中が変化していくほど、捨てなければいけないものが山ほど出てきます。禅に「坐忘」という言葉があります。新しいものを受け入れるためには、古いものを捨てなければならない、だからどんどん捨てなさい、という意味です。経済学者のシュンペーターも、創造的破壊と言っています。破壊的創造とは言っていません。新しいものを創り出すには、ま



TV会議システムにより東京キャンパスにも配信された。

ず壊さなければならないのです。創造した後で壊すのは駄目、順番が逆です。壊したところには、新しいものが自然に生まれてきます。「最初に捨てる」ということが大事なんです。そうしなければ、新しいものは入ってきません。「2+1=1」の2は、1と、本来捨てるべき-1の絶対値の合計であって、本当は0です。0に1を足したところで、1にしかなりません。この式は、そういう意味です。「マイナスすべきものを引く」というのが大事で、変化の大きいときほど、引くだけで何も足さなくてもプラスになります。これが「2-1=3」、つまり「2-(-1)=3」ということです。経営者として言わせてもらえば、加えるだけの決断なんて簡単なものです。誰も反対しませんから。私の経験では、この決断はうまくいったためしがありません。犠牲がないので軽い気持ちでできますが、思い入れもないので効果も高が知れています。加えるのと逆に、引くことは大反対を受けますから極めて困難です。坐忘の経営が大事です。

一般の方々も受講できます。ぜひご参加ください。

事業創造大学院大学の客員教授による特別講義は、一般の方々にも公開しています。本学の院生と一緒に受講することができます。(受講料・各回¥1,000)

(今後の特別講義 開催予定)

2010年 5月 8日(土)	10:30~12:00	佐藤食品工業株式会社	代表取締役社長	佐藤 功	客員教授
2010年 5月 15日(土)	10:30~12:00	株式会社カレー総合研究所	代表取締役社長	井上 岳久	客員教授

※今後も講義の日程が決まり次第、ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。
※メールマガジン(月1回程度)、ダイレクトメール(随時)による情報発信も行っております。ご案内を希望される方は、本学までお知らせください。